

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	50万円
保険料	8万円
宿舍費（1か月あたり）	5万円
食費（1か月あたり）	6万円
渡航旅費	30万円

滞在形態関連

1) 種類
寮
2) 部屋の形態
相部屋（4人）
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

はい。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。麻疹，風疹，おたふく

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人，大学の先生

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

アメリカの他の州に比べ、フロリダ州の治安は大変良いと感じました。またディズニーの寮の入り口にはセキュリティが常駐しており、各部屋はオートロック付きでしたので安全性はかなり高いと思います。しかし寮内で盗難があったことを何度か耳にしたので、自衛意識を忘れないことが大切だと思います。

7) パソコン，携帯電話，インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

SIM カードは現地でオンライン購入しました。SIM 自体は三日以内に届きましたが、設定の仕方が分からず、一か月間は使うことが出来ませんでした。またそのことも含め、プランや支払い方法などの不明点を会社に問い合わせてもなかなか返事が貰えず困ったので、料金だけでなく様々な観点から他社と比較することをおすすめします。各寮には高速度のWi-Fiが設置されている他、24時間自由に使用できるコンピュータールーム（コピーも可）が完備されています。ディズニーの職場ではWi-Fiは設置されていませんでした。

8) 現地での資金調達はどうに行いましたか？

働き始めてしばらくすると、ディズニーからキャッシング可能なデビットカードが送られてきます。同封されている指定の番号に電話をして口座を稼働させると、その口座に毎週振り込まれてくる給料を使うことが出来ます。残金はオンライン又はアプリから確認することが出来ます。私は特に親から仕送りは貰わず、月の給料から大体の生活費を賄っていました。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

寮のバスで近くの Walmart まで行き、大体月に一回そこでまとめ買いをしていました。また Walmart よりはやや値段は高くなりますが、コモンズ寮から歩いて 15 分くらいのところに Publix という日本のスーパーマーケットにそっくりのお店があったので、そちらも頻繁に使用していました。日本から持っていくべきものとしては、個人的にふりかけやインスタントお味噌汁などの簡単に作れるものがおすすめです。あとは現地でも手に入りにくいだしを持っていけば、そばやうどんを作ることができるので重宝します。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

クレジットカード

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

寮主催で月に一度、Asian Market Trip というものがありました。私は結局一度も参加しませんでした。Walmart や Publix では買えない日本の食べ物（調味料、お菓子、ジュース、納豆など）を購入できるので、明治の学生のほとんどが参加していたように思います。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

留学先大学のピックアップサービス

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。1 日。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Intercultural Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

明治学生その他、中国、韓国、カナダ、メキシコからの学生で構成されたグループ内で月一回の授業時とアプリを通じてディスカッションを行いました。一つの事柄に対する多様な価値観に触れることの出来る良い機会でした。

履修した授業科目名
Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
アメリカの文化と自国の文化を主にコミュニケーションの点から比較し、それを基にエッセイ作成やディスカッションを行いました。個人的に一番考えさせられる授業でした。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
実際にディズニーでインターンシップを進めていき、各ロールの職場から頂く評価がこの授業の成績として付けられます。最終的にはインターンシップを通して感じたことや学んだこと、今後の展望などを Final Report としてまとめます。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップ中に体験した、教授から紹介されたディズニーの企業理念・文化から学んだことや考えたことを基に大体月一回のペースでエッセイを作成します。ディズニーというアメリカ企業と自国との共通点や差異に気づかされました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>元々は海外インターンシップではなく北米か欧州に協定留学をしようと考えていました。しかし留学の準備を進めていく中で、学びたい分野がはっきりと定まっていない状態で海外の大学で授業を受講するのははたして意味があるのだろうか、と考えるようになりました。申し込み直前でしたが、もともと興味があったのと、かつ自分の視野や興味の幅を広げ社会経験値を高めてくれそうなディズニーでのインターンシップを最終的に選択しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>大体一年時の夏休み前ごろに明治の留学プログラムについて調べ始め、夏休みには英語スコアアップのためセブ島で一か月間の語学留学を行いました。秋頃にはどのプログラムに参加するか本格的に絞っていましたが結局直前まで悩んでしまい、TOEFL スコアの取得や志望理由書の作成がギリギリになってしまいました。特に TOEFL はスコアの郵送に時間がかかることがあるので、留学書類の提出期限から逆算して早め早めの受検をお勧めしたいです。個人的な反省になりますが、夏休み中に一度受検してその時点で自分がどのくらいのスコアを取れているのかを確認すればよかったです。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前は、明治の先輩方のインターンシップ報告書を読み現地での生活をイメージしていました。また Facebook や Instagram, Twitter などの SNS を通じてディズニーの情報収集を行っていました。特に Facebook 上には CP (ディズニーインターンシップ) のためのアカウントがあり、実際のディズニーでの生活情報やキャスト情報をシェアしていたので、大変助かりました。また留学中は日本と比べ移動手段が限られるので、Uber と Lyft という配車アプリを頻繁に使用していました。</p>

<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>職場の雰囲気は大変明るいと思います。職場にもよりますが私の職場はキャストの数がとても多く、働き始めた頃は名前を覚えるのが大変でした。リーダー、コーディネーター、パートタイマーと様々な性格の人がいますが、気さくな人が多く分からないことを聞いたらその場ですぐに教えてくれる優しい方たちばかりでした。CP生はアメリカ人が多く、日本人は私一人だけだったので正直マイノリティを感じてしまう場面も多々ありました。しかし、みんながチーム意識を強く持っていたことと、アジアやヨーロッパ、南アメリカからのCP生と互いに助け合うことで、愉しく働くことが出来ました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私が住んでいた寮はショッピングモールが隣接しており、また部屋内に洗濯機と乾燥機がそれぞれ一つずつ設置されていたので大変便利でした。また寮の問題を相談できるサービスセンターがあったことも心強く感じました。実際に私の部屋で冷蔵庫と火災報知器、コンロが故障してしまった時も丁寧に対応して下さいました。さらにルームメイト四人中全員が明治大学からの日本人だったので、精神的にも安心して六か月間生活することが出来ました。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>インターンシップが進むにつれ、様々な場面で交友関係が広がりました。同僚の同じICP生（アメリカ以外からのCP生）とは特に仲良くなり、仕事後に一緒にご飯を食べに行ったり、寮主催のイベントに参加したり、休日にパークに遊びに行ったりと多くの時間を共に過ごしました。仕事でも入りたての私に親身になって色々教えサポートしてくれ、感謝の気持ちでいっぱいです。また、授業を一緒に受けていく中で、他国からの留学生とも仲良くなり、ディズニーで働く上での情報交換やアドバイスをしあったことがとても楽しかったです。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>つらかったことは労働時間が深夜まで及ぶことがあったことです。特に私たちCP生は業務上クローズの作業を任されるが多かったので、時には21:00~3:00というクレイジーなシフトをこなすこともありました（職場によります）。しかし後から思い返してみれば、その経験によって同僚との距離が縮まったように感じます。また、どうしても無理な場合は他の人とシフトを交換することもできます。大変だったことはゲスト一人一人に的確な説明をしなければならなかったことです。特に二つ目のジョブでは毎日ゲストからパークについて尋ねられることが多く、いかに分かりやすく簡潔に答えられるかを日々模索していました。</p>

<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>授業が月に一度のペースでありましたが、特に予習などは行っていませんでした。それよりも、アプリ上で行われるディスカッションやエッセイの提出が頻繁に求められるので、仕事や家事と両立させることが大変でした。出されたテーマの意味が完全につかめなくても、きちんと提出すれば評価やフィードバックを貰えるので恵まれた学習環境だったと思います。毎日コツコツと勉強するというよりは、アメリカでの日常生活の中で気づいたことや考えたことを中心に学習を進めていくので、日々のインターンシップ中外で常にアンテナを張っておくことが重要だと感じました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>自由時間は友人とパークに遊びに行くことが多かったですが、後半は寮で過ごすことも増えました。またリゾート巡りをしてみたり、寮の周辺を探索してみたり、アウトレットに行きショッピングをしたり、ユニバーサルスタジオに行ったりと、パーク以外の場所で息抜きをすることもありました。寮主催のイベントが月に何回もあったので、時間が合えば積極的に参加していました。休暇申請が通った際には、ニューヨークやロサンゼルス、シカゴなどアメリカの他の都市への旅行を楽しみました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>英語を伸ばすために長期留学を希望する方が多いですが、“なぜ”英語を伸ばしたいのか、“どのように”伸ばす必要があるのかを考えてみると、自然と自分に合った留学プログラムが選択できるのかなと思います。留学中も大きなことでも小さなことでも常に目標を立てて、それをひとつひとつクリアすることで自分の自信やモチベーションにして欲しいです。このディズニーインターンシップでは、特殊だからこそ大変なことや辛いことも経験するかもしれませんが、それに負けないくらいの唯一無二の経験をすることができます。頑張ってください！</p>